

埋立

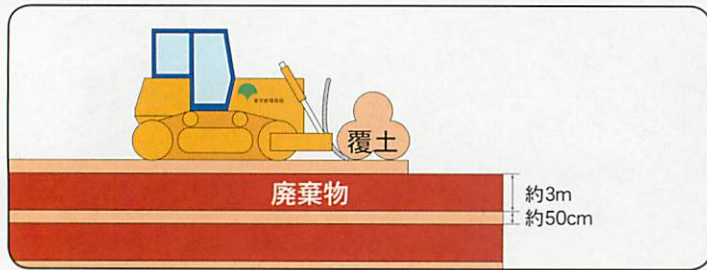
中間処理された廃棄物は、埋立場所までコンテナ車やダンプ車で運ばれ、廃棄物の種類別にきめられた場所に埋め立てます。埋立場所では、ブルドーザーで敷均し、整形、転圧を行い、効率よく安全に作業を進めています。

埋立作業



サンドイッチ工法

埋め立てた廃棄物の上に適切に覆土し、その上に更に、廃棄物を埋め立てていきます。



サンドイッチ工法には、次のような効果があります。

- ① 廃棄物の飛散防止
- ② 廃棄物の臭気拡散防止
- ③ 害虫の発生防止（害虫の卵などの孵化を防ぐ）
- ④ 廃棄物による火災防止（空気を遮断する）

場内パトロール



埋立作業の進行管理のほか、害虫駆除作業の管理や危険物等の発見、搬入車の場内での事故処理等、処分場の全般について管理しています。

防虫対策



衛生的環境を確保するため、ハエの発生状況を日々調査し、その発生状況に応じて、薬剤を散布していきます。

覆土

廃棄物が一定の厚さに達したときや道路造成時などに土をかぶせます。また、埋め立てが終了した時は最終覆土を行います。

覆土作業



覆土された状態



ガス抜き



埋め立てた廃棄物からメタンガスが発生します。このガスによる火災が起こらないよう、パイプを打ち込んで、ガスを抜いています。

飛散対策



外周道路などには、埋立地のごみが海上へ飛散することを防止するために、周囲全体にネットフェンスを設置しています。